

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市都市緑化協会	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
---------------	---------------------------

基本事項

所管局課	建設局みどり政策推進室	本市出えん金	50,000	千円
基本財産／資本金	50,000	千円	本市出えん率	100 %

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」における「今後の方向性」

当欄では、「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」において、外郭団体としての位置づけを「存続」するか、外郭団体としての位置づけを外れて「自律化」「解散」するかのいずれの方向性を決定したかを記載している。

方向性	自律化	目標年度	平成32年度
本市の出えん率引下げに向けた実施計画			
	H30	H31	H32
取組内容	引下げ方法の検討、評議員・理事・監事の意向確認の開始、方法の暫定方針決定。	定款・規程等の変更の可否の検討。変更の場合は、定款・規程修正・各種出版物等の変更・修正作業。	引下げの実施（理事会決議、評議員会の承認）。定款等変更の場合は、評議員会決議、変更登記、京都府への変更届。

2 今後取組を進めるうえでの「基本的方針」

当欄では、「今後の方向性」の実現に向けて、各団体が業務面、財務面、組織面及びその他の各分野ごとに取り組むべき課題等について記載している。

業務面	業務全般について、公益性を確保しながら合理化と収益性の向上を図る。指定管理業務では施設活用を積極的に図り、料金収入等の増加を目指す。また、社会的ニーズに対応した各地での普及啓発事業を一層拡大する。
財務面	安定的に公益目的事業を推進するための新たな財源を、指定管理業務及び他の事業において開拓する。基本財産における京都市出資比率については、期間内に25%未満とすることを目指す。
組織面	効率的な人員配置に努める一方、自律的に事業を推進、拡大できるよう、必要な人材の育成又は採用を行う。
その他	緑のボランティアの支援、京都の「緑の文化」の発信、希少植物保全等により、緑化関連団体、大学、企業、市民団体、地域団体、マスコミ等の各団体との連携・協力関係を一層広げる。

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市都市緑化協会	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
---------------	---------------------------

3 基本的方針を実現するための具体的取組(3年間の計画期間中における具体的取組)
① 「基本的方針」を実現するための具体的な取組を記載する。 ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。 ③ 計画期間の最終年度(平成32年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1)業務に関する取組

目標1「公園施設利用の拡大」						
取組内容	梅小路公園、子どもの楽園の指定管理期間の更新を迎えるが、最大限の施設活用による公園事業、イベント開催等の魅力あふれる公園施設運営により利用者数を増やし、利用者の利便性・快適性の確保とともに収益拡大を図る。					
○指標	指定管理公園の利用料金及び自主イベント入場料の合計額					
採用理由	公園の活性化を示す指標であり、当協会収入でもあるため。					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：千円)
	28,298	30,000	32,000	35,000	40,000	
実現方法	営業時間外や平日のイベント開催等に取り組む。梅小路公園では新駅・新広場の開設に伴う新規利用者の利便性確保に努める。					

目標2「公益目的事業における普及啓発事業の拡大」						
取組内容	各地の地域団体、企業、学校等を対象にした出張講習会等の開催や講師派遣を増やすとともに、専門的なニーズに対応した企画等にも幅を広げる。					
○指標	公益目的事業の緑化関連講習会等の総参加者数					
採用理由	普及啓発活動のうち講習会・教室等は公益目的事業の中心的な内容であるため。					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：人)
	4,060	4,200	4,300	4,450	4,600	
実現方法	京都市緑のボランティアセンターの窓口運営を本格的に行い、各地の団体向け出張相談や講習を積極的に進める。緊急課題である京都の希少植物の保全、防災と雨水利活用を図る緑地づくり等の専門的テーマの普及啓発を行う。					

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市都市緑化協会	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
---------------	---------------------------

(2)財務に関する取組

目標 「新たな安定的な財源の確保」						
取組内容	公益目的事業を持続的に推進していくため、公園事業のほか、京都ゆかりの希少植物の保全や雨庭普及等得意分野を生かした新規の受託事業、物販及びその他新規の収益事業により収益拡大に取り組む。					
○指標	新規事業収益の合計額					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：千円)
	—	—	4,000	8,000	10,000	

(3)組織に関する取組

目標 「事業推進体制の確立」						
取組内容	すでに京都市派遣役職員の受入れを廃止しており、効率的な人員配置に努める一方、欠員が生じている部署については、自律的に事業を推進、拡大できるよう必要な人材の育成又は採用を行う。					
○指標	事業推進に必要な人員の配置					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：－)
	(派遣受入れ廃止済み。)	(派遣受入れ廃止済み。)	効率的な人員配置及び事業推進体制の検討	必要な人材の配置	必要な人材の配置	

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都市都市緑化協会	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
---------------	---------------------------

(4) その他の取組

目標「みどりのネットワークの拡大」						
取組内容	市内各地の緑のボランティアの支援, 都市の風格を高める京都の「緑の文化」の発信, 京都ゆかりの希少な植物(和の花)とその生息環境の保全等により, 緑化関連団体, 大学, 企業, 市民団体, 地域団体, マスコミ等の各団体との連携・協力関係を一層広げる。					
○指標	当協会が主体となり行う又は支援する都市緑化関連活動業を通じ, 連携・協力する団体数(累計)					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位: 団体)
	240	250	270	300	320	

4 中期経営計画に対する意見

団体が作成した中期経営計画に対する, 所管局の意見を記入します。

所管局	<p>自律化に向け, すでに本市補助金及び派遣役職員の受入れを廃止し, 完全な自律化のためには, 本市出えん率を引下げるのみとなっている一方, 安定的な財源の確保が急務となっている。公園事業での積極的な投資・施設活用や魅力あるイベント開催, 法人の得意分野を生かした新規事業を開拓するよう促していく。また, 今後, 自律化した公益法人として, 本市の都市緑化事業推進において, 益々重要な役割を果たしていくための団体のあり方について協議を進めていきたい。</p>
-----	---